



学校だより

CONTENTS

学生の活躍	2
挨拶 <工華祭!>/校長 三谷 卓也	4
<The sky is the limit! 可能性は無限大!>/後援会会長 吉田 涼子	4
特集<工華祭特集>	
<第24回工華祭>/工華祭実行委員長 4J 本島 琉矢	5
<OPEN SESAME>/学生主事補 工藤 まゆみ	5
<1-1のタイ喫茶>/1年1組(E) 山田 桔平 他	6
全国高等専門学校体育大会	8
コンテスト	11
関東信越地区文化発表会	12
1日研修旅行	14
社会見学旅行	16
インターンシップ 2023	18
ロサンゼルス海外研修 2023	19
NEWS&TOPICS	20

第130号

2023.12.13 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
 National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

学生の活躍

令和5年度 全国高等専門学校将棋大会・団体戦 優勝！

第30回 全国高専将棋大会優勝をうけて

王将

将棋部 3J 余 夏輝



第30回全国高等専門学校将棋大会が岐阜県のじゅうろくプラザで開催されました。本大会は個人戦と団体戦の2つのトーナメントがあり、団体戦での成績は第16回大会の第3位が最高成績でしたが、今大会で優勝という過去最高の成績を収めることができました。

一昨年、去年と全国大会に参加してきましたが、例年と比べトーナメントではどの対局もレベルが高く、見ごたえのある対局が多かったと思います。その中で優勝候補校との戦いや、決勝戦での緊張は今でも忘れません。

どの試合もぎりぎりまで苦戦を強いられていましたが、最後まで諦めなかったことや、日々の努力があってこそこの優勝だったのではないかと思います。

決勝戦ではプロ棋士の方に大盤解説をしていただけて、自分の未熟さやプロとの差を実感することができました。また部員の成長や他校との交流などは大会ならではの貴重な経験だったと思います。

今回の大会で学んだことを踏まえ、来年では個人戦、団体戦ともに好成績を収められるよう、日々の部活を精一杯努めていきたいです。

最後に、本大会の遂行にあたって大会関係者の皆様、日頃よりご指導いただいている熊谷先生、また就職活動や編入試験、卒業試験で忙しい中練習や大会に参加していただいた先輩や他の部員に心より感謝いたします。



大会結果

- 1回戦：対 松江高専 2対1
- 2回戦：対 津山高専 2対1
- 3回戦：対 奈良高専 2対1
- 準決勝：対 鹿児島高専 3対0
- 決勝：対 福島高専 2対1



「高専ワイヤレスIoT コンテスト 2023～高専が地域を変える！～Wicon2023」採択



WiCON 採択に感謝感謝！！

5C 柏田 晴一



私がおこなっている研究テーマ「1・2周波GPSを用いたハイブリッド測位方式による猟犬・勢子の活動モニターサービス」について高専 IoT ワイヤレスコンテスト (WiCON) から採択をいただきました。1月には本選大会に出場するための予選がおこなわれる予定です。

研究内容は、狩猟参加者が、たつ・勢子・猟犬の現在位置をリアルタイムでモニタリングできるシステムを開発するといったものです。たつは猟銃で獣を仕留める人 (ハンター) のことであり、勢子や猟犬は獣を発見し、たつに向けて追込みます。猟場は主に山中であり、お互いの位置を把握しづらく、組織的な動きができずに獣の逃走や誤射などの問題が生じてしまいます。そこで、本研究で開発するサービスにより、お互いの位置情報を共有でき、安全に狩猟をおこなうことができます。

本選へと出場するため、教職員や本校のOB、連携先のご協力のもと日々研究に取り組んでいます。たくさんの方と研究できることに感謝の気持ちを忘れず、良い結果を得られるよう最善を尽くしたいです。

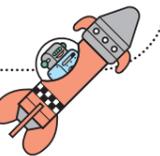
本選へと出場するため、教職員や本校のOB、連携先のご協力のもと日々研究に取り組んでいます。たくさんの方と研究できることに感謝の気持ちを忘れず、良い結果を得られるよう最善を尽くしたいです。



研究生とがんばっています

ぐんまスペースアワード2023

「ぐんまロケットチャレンジ」で優勝し、群馬県知事賞を受賞！



ロケット甲子園への挑戦

1年4組(E) 山口 瑛翔



私がロケット甲子園に参加しようと思った理由は、ロケットや宇宙に対する興味があり、モデルロケットの製作を通して通常のロケットの基本的な仕組みを学ぶことができると思ったからです。さらにイベントを通じて、新しい知識や交流を深めたいと思ったからです。

私たちは優勝を目指し、毎日ロケットの製作に励みました。機体の重さや重心、フィン (翼) の素材や角度、パラシュートや卵の保護など、細かい箇所まで何度も試行錯誤を繰り返しました。また2度のワークショップを通じて、ロケットの知識だけではなく人間関係まで築くことができました。

そして「ぐんまロケットチャレンジ」当日、私たちのロケットは一回目の打ち上げで大会が定める目標に非常に近い飛行を行い、無事優勝することができました。そのうえ、群馬県知事賞も頂けました。

今回の経験から知識や人間関係以外にも、努力の積み重ねや達成感を強く感じました。来年は、今年制作を踏まえ更に細かな調整と修正を行い、より正確なロケットを製作していきたいと考えています。

ロケットや宇宙、モノ作りが好きな方々は、来年参加してみませんか？



校長挨拶

「OPEN SESAME」(ひらけ、ごま!)の呪文とともに扉を開いて始まった今年の工華祭は11月4日・5日に開催されました。

もともと2年に一度の開催ということもあり、また久しぶりに来場者等の制限がなかったということもあって大盛り上がり。まさに洞窟の中にあった宝物のようにキラキラした2日間でした。

準備期間中、最初は余裕があった学生諸君の表情も、その日が近づくにつれて、余裕がなくなり…引きつっていき…でも、そういった状況すら楽しんでいるようでもあり、とてもいい顔になっていきました。

そして当日。疲れなんてどこへやら。すべてを昇華させたような、とてもいい笑顔ばかり!この笑顔につられたのでしょうか、用意した物が足りない!と学生達が悲鳴を上げるくらいたくさんご来場いただいたお客様の皆様もステキな笑顔ばかりでした。

もちろん、トラブル…とまではいかない些細な「ネコブル」はたくさんあったのだと思います。でも、それをひとつひとつ、皆で協力して対応し、当日まで乗り切ったことは、学生達にとってとても良い経験になったと思います(特に工

工華祭!

校長 三谷 卓也

華祭実行委員会のメンバー達は大変だったと思います。お疲れ様でした!)

学生達は、呪文を唱えて扉を開き、この「工華祭」という経験をしました。では、彼らはこの後どのようにこの経験を活かしていくのでしょうか?物語のアリババは、洞窟の中にあつた宝物を国中の貧しい人たちに分け与え、彼の一族は永く繁栄しました。この工華祭での経験が、学生達それぞれにとって、将来にわたって活かされる「宝物」となれば良いなと思っています。



「作ったので…」と持ってきてくれたり、配布・販売されていたグッズたち。ほんの一部ですが、しばらく校長室に飾っておくことにしました。

後援会会長挨拶

The sky is the limit! 可能性は無限大!

後援会会長 吉田 涼子

今年度は、4年ぶりに後援会総会を集合開催したことを皮切りに、地区懇談会、学年別懇談会・進路説明会と予定していた全ての行事を無事実施することが出来ました。ご協力頂いた教職員の皆様、役員の皆様、そしてご参加いただきました会員の皆様はこの場をお借りして、感謝申し上げます。

さて、後援会長として、10月に行われた高専ロボコン地区大会の応援に参加させていただきました。結果は残念ながら予選敗退でしたが、改めて高専生の技術力の高さはもちろん、大人の我々には到底思いつかないような発想力に感銘を受けました。ロボコンに限らず、部活動や研究活動、海外語学研修など、様々な分野において、学生さんたちが活発に活動されているというたくさんのお知らせを聞き、

後援会として何より嬉しく思います。

世の中は驚くほどのスピードで日々変化していきます。学生の皆さん、その柔らかい頭で、常識に囚われず、無限の可能性を信じ、色々なことにチャレンジしてってください。私たち後援会は、皆さんの夢の実現をこれからも全力で応援していきます!!



ロボコン地区大会応援団として三谷校長先生と

KOKASAI

工華祭



第24回工華祭

工華祭実行委員長 4J 本島 琉矢

2年に1度の大きな祭りが終わってしまいました。僕にとっては最後の工華祭で、とても思い出のある工華祭でした。工華祭が1ヶ月前に迫ってきた頃からは、ストレスでかなりしんどかったです。そんなときも頑張れたのは、偉大な先輩方が作り上げた工華祭を知っていたからです。前回の工華祭はとても衝撃的で、終わったときに今回の副実行委員長と「次回は俺らが工華祭を作ろう」と話した記憶があります。今の後輩にとって、今回の工華祭がそんな良い影響を与えられるものであったらいいなと思っています。

今回の工華祭は“OPEN SESAME”のサブタイトルに恥じないくらいに、新しい試みを行ったものであったと自負してい

ます。次回以降も新しい試みをたくさん行い、より良いものにしてほしいと思います。今回僕は、あまり企画を回ることができなかったのですが、次回の工華祭はお客さんとして参加したいという願望があります。優秀な後輩が作り上げる2年後の工華祭を心の底から楽しみにしています。第24回工華祭は、皆さんのおかげでとても楽しいものとなりました。本当にありがとうございました。



OPEN SESAME

学生主事補(学生会) 工藤 まゆみ

コロナの分類が5類へと移行し、制限のない中で工華祭が開催されました。規制が明けて最初の工華祭ということで、是非多くの方に訪れて頂き、群馬高専の魅力に触れてほしいという実行委員会の思いから、今年は「OPEN SESAME」というタイトルがつけられました。広報課長の平川君が制作したポスターには、岩の扉の先にある洞窟に見立てた本校の魅力が詰まっています。

当日は晴天に恵まれ、パンフレットが足りなくなるくらい多くの方にご来場頂きました。実行委員会のメンバーをはじめ、各企画に熱心に取り組んだ学生一人ひとりの頑張り、二日間とも大いに盛り上がりました。皆さん、思い出に残る時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。

運営にあたり、実行委員長の本島君をはじめ、実行委員会のメンバーは想像以上に苦労したと思います。本当にお疲れ様でした。また、裏方業務に努めてくれた学生会のメンバー、正門周辺の清掃から当日のごみ集めを担当してくれた環境委員会

のメンバー、駐車場の整備を担当してくれた一般警備のメンバーなど、多くの学生のサポートと活躍もありました。最後に、工華祭運営にご協力下さった学生支援係の皆さま、教職員の皆さま、ご来場頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。





1-1のタイ喫茶

1年1組(E) 山田 桔平

1-1 クラス企画「タイ喫茶」は、担任、清水先生の監修のもとガパオライスや揚げバナナを販売した。ガパオライスは予想以上の大盛況で追加販売も行った。しかし、揚げバナナは予想よりも売れずにいたが、クラスの実行委員が機転を効かせ、最終的にはタイ料理から八百屋へとなり、バナナ単体として売り切ることができた。

高専に入学してから数ヶ月が経ったこの日、以前には見られなかった信頼や全員で熱心に取り組もうとする気持ちを感じ取ることができた。



萌え♡

4K 丹羽 晃崇

4Kではクラス企画でメイドカフェをしました。前回の工華祭では人数制限などがあり、招待者のみ参加可能な形で行われていたため、一般公開のある工華祭は初めてでした。想像を超える人数の方々にお越しいただき、メイドカフェも大反響でした。クラスみんなで準備をし、男女問わずメイドに振り切って接客するのはとても楽しかったです。クラス企画は関係なくなりますが、他のクラスや部活の出し物、高専全体の工華祭での雰囲気、ステージ企画での感動など、高専生活ラストの工華祭を満喫させていただき最高でした。



オタクがオタクのコスしてみた

2年2組(M) 立脇 実

私は周りの人がコスプレをする中で特別なことをしたいと思いました。しかし、衣装を買うのは嫌だったので、オタクの完全体になりました。工華祭を通じて、普段は話さない人とも話せたり、逆に話しかけられたりして、コミュニケーションの苦手さを少しでも克服できたことが嬉しかったです。再来年も楽しみです。



Vamos!!

3J一同

3Jの本格タコス、ご賞味いただけましたか？企画準備の段階から大変なことやわからないことも多かったですが、最終的には売売まで行くことができクラス一同感謝の気持ちでいっぱいです。初めての試みだったので、少し高めな値段設定となっていました。再来年はもう少しお手軽に提供できるよう努めたいと思います。



とりせんが地味に遠い

5C 金田 貴寛

5C金田です、工華祭お疲れ様でした。5年生は今回が3回目の工華祭でしたね。関係ないですけど欲を言えば体育祭もう一回ぐらいやりたかったです。体育祭を一度しか経験してないんですようちの学年は。

さて本題の工華祭の感想ですが、意外と盛り上がり予想よりも楽しかったです。うちのクラスだけでもかもしれませんが自分含めやる気ムラのある人が多いので協力してもらえるか少し不安でした。当日どうなるか分からなかったことと、わたあめだからたいして売れないだろうと考えていたら失敗しました。まあ売れる売れる、やる気ある人も多くて嬉しい誤算でした。買い出しが大変でしたよ。



2023 全国高等専門学校体育大会

全国体育大会出場報告

陸上競技部

初めての高专全国大会

僕は走り高跳びという初挑戦の競技で高专全国大会に出られたことがとても予想外でした。地区大会に出場するまでは、勉強の忙しさや練習環境の制限もあって全く練習を積めていませんでした。しかし、中学校のときに体操を経験していたため、自分の体を回転させる技術と脚力には自信がありました。幸いにも地区大会では自分の予想以上の記録を出すことができました。しかしレベルの高い全国大会で通用する記録を出す事は当然出来ませんでした。どうすればさらに記録を伸ばせるか、練習環境をどのように確保するかをこれから模索していきます。最後になりましたが、応援してくれた皆さま、ありがとうございました。

2年3組(M) 内田 智也



テニス部

テニスを通して幸せたくさん

今年も女子シングルスで全国大会に出場できました。全国大会では、地区ごとに団体チームを組んで女子の団体戦を行うのですが、関東信越地区女子は今年、準優勝することができました。肝心なところで私が負けて準優勝になったのですが、悔しかったことも情けなかったことも今振り返るとひとつの思い出であり、とてもいい経験になりました。

一年生で地区大会で初戦敗退した時からたくさん練習し、今では他高专の合宿に誘っていただけたりと、テニス仲間も増えてりと、努力しただけ幸せも増えたことを実感しています。

顧問の先生方、いつもサポートありがとうございます。部員みんなにもすごく感謝しています。もっと実力をつけて、みんなに恩返しできるように努力します！いつもありがとう。これからもよろしくお願いします。

4K 内海 咲紀



水泳部

来年に繋がる全国大会

私たち水泳部は男子1名、女子4名が全国大会に出場しました。今回初めて女子はメドレーリレー、フリーリレーでも出場することができ、とても嬉しかったです。また、コロナの影響で前回大会まではタイム決勝で行われていたのですが、今回からは予選・決勝のある通常の大会形式に戻ったことに緊張感を持ちながら挑みました。3位以内に入賞することはできませんでしたが、学年に関係なく一致団結して大会に挑むことができたことや、大会の中で他高专の学生とさまざまな話を刺激をもらうなど貴重な体験をしました。今回の大会を通じて学んだことを活かしながら、来年も全国大会に出場できるように、練習を励みたいと思います。

3C 櫻井 花梨



卓球部

成長

卓球部は昨年に引き続き、今年も全国高等専門学校体育大会に出場させて頂きました。今年は、男子団体、女子団体、女子個人戦ダブルス1ペアが出場しました。昨年と同様予選敗退という形にはなりましたが、昨年は団体戦でほぼストレート負けな状態だったのに対し、今年はあともう少し勝てそうと言うところまで行けました。昨年に比べかなりの成長を感じたとともに、あと少し届かなかった所へ手が届くようにより一層練習に励んでいこうと思いました。今年は直前で来れなくなったメンバーなどもいましたが、そのようなメンバーの気持ちも背負って参加することができたと思います。来年も出場できるよう努力していきます。

4E 関口 凱斗



硬式野球部

今戦ったら俺らの方が絶対強い

令和5年8月22日、我々硬式野球部は群馬高专が主管校として開催された全国高等専門学校体育大会野球競技に開催校代表として出場しました。秋季高校野球群馬県大会で県ベスト16に輝いた実績と優勝候補筆頭として、大会2日目に上毛新聞敷島球場にて開催された、石川高专との準々決勝に挑みました。試合はシーソーゲームで白熱した接戦となりましたが、惜しくも5対8での敗退となってしまい、あと一歩で全国ベスト4、さらには優勝を狙えたという悔しい結果で我々の野球人生は終了することになってしまいました。皆さん応援頂き、誠にありがとうございました。戦力の大半をしめていた4年生に、来年の大会で日本一を掴みとってくれることに期待しています。最後に、主管校として大会の開催にご協力していただいた皆様に感謝申し上げます。

5E 関 千優 5C 大竹 志弥



剣道部

部員募集中の剣道部、大会報告

私達、剣道部女子は8月末に行われた全国高专大会剣道競技に団体の部で出場しました。部員が少なく補欠なしで、メンバー誰も欠けられない状況に緊張していました。部員が欲しいです。

大会ですが、結果から言うと予選リーグ敗退でした。鈴鹿高专、松江高专にそれぞれ1勝2敗で負けてしまいました。剣道は西に行くほど強いて言うよねという言い訳を並べながら、かなり悔しかったです。全員が完敗ではなく惜しい試合をしていたように感じます。

全国の舞台上「あと少しで勝てたかもしれない。悔しい。」と思える試合ができたのは今後のモチベーションにつながります。来年は今年よりも勝ち進めるように、まずは関東大会に向けてそれぞれが「剣道」と向き合っていきたいです。

3E 鈴木 琴里



令和5年度 全国高等専門学校体育大会結果一覧

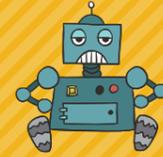
種目	開催校	開催期日	結果			
陸上競技	長岡	8月26日 8月27日	男子100m	予選敗退	関 優太	11秒38
			男子200m	予選敗退	関 優太	23秒03
			男子走高跳	記録なし	内田 智也	
			女子800m	6位	金子 美乃莉	2分38秒40
			女子3000m	7位	金子 美乃莉	11分35秒01
水泳	長野	8月25日 8月26日	男子800m自由形	17位	清水 怜	10分44秒33
			女子50m自由形	7位	角屋 玲那	30秒43
			女子100m自由形	5位	櫻井 花梨	1分04秒51
			女子200m個人メドレー	7位	櫻井 花梨	2分42秒64
			女子4×50mメドレーリレー	6位	倉持 由衣・櫻井 花梨・佐々木 彩希・角屋 玲那	2分36秒29
女子4×50mフリーリレー	決勝進出(決勝は失格)	倉持 由衣・櫻井 花梨・佐々木 彩希・角屋 玲那				
硬式野球	群馬	8月21日 8月22日 8月23日 8月24日	1回戦敗退			
			1回戦	群馬 5-8	石川	
テニス	東京	8月29日 8月30日 8月31日	女子シングルス	1回戦敗退	内海 咲紀	
卓球	茨城	8月19日 8月20日	男子団体戦	予選リーグ敗退	群馬 0-3 高知 群馬 1-3 大分	
			女子団体戦	予選リーグ敗退	群馬 1-3 岐阜 群馬 1-3 神戸市立	
			女子個人戦ダブルス	予選リーグ敗退	原野 恋羽・菅谷 美羽 群馬 0-3 米子 群馬 1-3 福島 群馬 0-3 北九州	
剣道	木更津	8月26日 8月27日	女子団体戦	予選敗退	群馬 1-2 松江 群馬 1-2 鈴鹿	

令和5年度 全国高等専門学校体育大会テニス競技 第2回女子団体戦(オープン種目)

テニス	東京	8月29日	女子団体オープン戦	準優勝 1回戦 2回戦 決勝	関東信越地区 内海 咲紀 関東信越地区 3-0 九州沖縄地区 関東信越地区 2-1 四国地区 関東信越地区 1-2 東海・北陸地区
-----	----	-------	-----------	-------------------------	--

令和5年度 関東信越地区高等専門学校体育大会結果一覧

種目	開催校	開催期日	結果		備考		
陸上競技	東京	7月1日 7月2日	男子100m	3位 関 優太	11秒56 全国大会出場		
				6位 横田 悠音	11秒84		
			男子200m	準優勝 関 優太	22秒61 全国大会出場		
				予選敗退 園田 瑠輝	25秒38		
			男子400m	予選敗退 川田 一樹	1分08秒37		
			男子800m	予選敗退 黒澤 陸	2分32秒02		
				予選敗退 滝井 裕太郎	2分32秒22		
			男子5000m	11位 樋口 泰平	17分59秒42		
			男子110mH	予選敗退 森田 健介	22秒85		
			男子4×100mR	6位 佐藤 勇斗・横田 悠音・川島 伸・渡部 史	46秒03		
			男子4×400mR	7位 藤原 基基・原野 伊吹・黒澤 陸・滝井 裕太郎	4分02秒96		
			男子走高跳	3位 内田 智也	1m65 全国大会出場		
			男子走幅跳	11位 勝又 海渡	5m07		
			男子三段跳	7位 小澤 雄太	11m71		
			男子円盤投	9位 小澤 雄太	16m40		
男子200m	5位 狩野 一華	32秒99					
女子800m	優勝 金子 美乃莉	2分37秒04 全国大会出場					
女子3000m	優勝 金子 美乃莉	11分32秒75 全国大会出場					
女子4×100mR	4位 狩野 一華・徳島 麗奈・渡部 史・大谷 豊貴	1分03秒74					
男子50m自由形	9位 平川 大樹	30秒84					
男子50m自由形	11位 松本 大輝	32秒85					
男子100m自由形	4位 須藤 未瑠樹	1分00秒36					
男子100m自由形	13位 八田 優斗	1分20秒50					
男子400m自由形	4位 北爪 大夢	5分49秒13					
男子800m自由形	準優勝 清水 怜	10分36秒22 全国大会出場					
男子100m平泳ぎ	優勝 黒澤 一輝	1分07秒38 全国大会出場					
男子200m平泳ぎ	優勝 黒澤 一輝	2分29秒03 全国大会出場					
男子100m平泳ぎ	10位 岡田 和也	1分29秒54					
男子100m平泳ぎ	14位 富田 悟史	1分57秒31					
男子100mバタフライ	7位 岡田 和也	1分29秒53					
男子200m個人メドレー	4位 山本 悠悟	2分53秒99					
男子400mフリーリレー	5位 黒澤 一輝・山本 悠悟・須藤 未瑠樹・清水 怜	4分16秒53					
男子400mフリーリレー	4位 黒澤 一輝・園田 和也・北爪 大夢・須藤 未瑠樹	4分51秒25					
女子50m自由形	優勝 角屋 玲那	30秒30 全国大会出場					
女子100m自由形	準優勝 櫻井 花梨	1分05秒19 全国大会出場					
女子100m自由形	3位 角屋 玲那	1分07秒68					
女子200m個人メドレー	優勝 櫻井 花梨	2分45秒46 全国大会出場					
女子4×50mフリーリレー	準優勝 倉持 由衣・櫻井 花梨・佐々木 彩希・角屋 玲那	2分15秒58 全国大会出場					
女子4×50mフリーリレー	準優勝 倉持 由衣・櫻井 花梨・佐々木 彩希・角屋 玲那	2分36秒42 全国大会出場(主審判)					
野球	産技品川	6月24日 6月25日	3位				
			1回戦 シード				
バレーボール	長岡	7月8日 7月9日	男子	予選リーグ敗退			
				群馬 0対2 茨城			
				群馬 0対2 長野			
バスケットボール	木更津	7月1日 7月2日	男子	予選リーグ敗退			
				群馬 131-45 サレジオ			
				群馬 60-100 木更津			
女子	3位	準々決勝 群馬 50-44 茨城	準決勝 群馬 48-58 長野	優勝 群馬 48-58 長野			
					男子	予選リーグ敗退	
						群馬 2対0 産技品川	
	群馬 2対0 産技品川						
	群馬 2対0 茨城						
	群馬 0対2 木更津						
サッカー	小山	7月15日 7月16日	4位				
			1回戦 群馬 7対1 サレジオ				
			準決勝 群馬 0対5 茨城 3位決定戦 群馬 0対2 東京				
テニス	サレジオ	7月1日 7月2日	男子団体戦	2回戦敗退			
				シード			
			男子個人戦シングルス 入賞者なし 男子個人戦ダブルス ベスト8 女子個人戦シングルス 準優勝 内海 咲紀 全国大会出場 女子個人戦ダブルス 優勝 原野 恋羽・菅谷 美羽 全国大会出場				
ソフトテニス	茨城	7月8日 7月9日	男子団体戦	3位			
				予選リーグ 群馬 3対0 産技品川			
				群馬 2対1 長岡			
卓球	群馬	7月1日 7月2日	準々決勝 群馬 0対2 長野				
			3位決定戦 群馬 2対1 小山				
			ベスト8 徳留 翼・花島 礼雅				
	2回戦敗退 丹羽 晃崇・赤羽 泰地・江崎 隆弥・太田 知希						
	1回戦敗退 主代 悠翔・青木 優						
バドミントン	長野	7月1日 7月2日	男子団体戦	準優勝			
				1回戦 群馬 3対1 長野			
				群馬 3対0 産技品川			
	決勝 群馬 1対3 長岡						
	優勝 群馬 1対3 長岡						
	1回戦 シード						
	準決勝 群馬 3対1 東京						
	決勝 群馬 3対2 木更津						
柔道	東京	7月15日	男子個人戦66kg級 入賞者なし 男子個人戦73kg級 入賞者なし 男子個人戦無差別級 優勝 飯田 優				
			女子個人戦シングルス 3位 原野 恋羽				
			女子個人戦ダブルス 準優勝 原野 恋羽・菅谷 美羽 全国大会出場				
男子団体	準優勝	1回戦 シード	準決勝 群馬 3対0 サレジオ	決勝 群馬 1対2 長岡			
					女子団体戦	3位	
						1回戦 群馬 2対1 産技品川	
	準決勝 群馬 0対2 長野						
	優勝 群馬 2対1 産技品川						
男子個人	準優勝	1回戦 シード	準決勝 群馬 3対2 産技品川	決勝 群馬 1対3 長岡			
					男子個人戦66kg級 入賞者なし 男子個人戦73kg級 入賞者なし 男子個人戦無差別級 優勝 飯田 優		
					女子個人戦シングルス 3位 長森 涼香		
女子個人戦ダブルス 3位 大塚 亮希・川上 菜							
男子団体	1回戦	シード	準決勝 群馬 3対2 産技品川	決勝 群馬 1対3 長岡			
					女子団体戦	予選リーグ敗退	
						予選リーグ 群馬 4対0 東京	
	群馬 0対4 小山						
女子団体	優勝	1回戦 シード	準決勝 群馬 1対0 木更津	決勝 群馬 2対1 小山			
					男子個人	入賞者なし	
					女子個人	入賞者なし	



コンテスト



CONTEST

高専ロボコン2023地区大会

高専ロボコン地区大会で得た悔しさを繋ぐ

ロボット研究会 3M 星野 匠飛

10月15日、我々ロボット研究会は高専ロボコン関東信越地区大会へ参戦してきました。今年度のテーマは「もぎもぎ!フルーツGOラウンド」といい、障害物の設置されたフィールド上で、吊るされているフルーツを収穫し、得点を競う競技です。開発期間中は独創的なロボットを追い求めながらも、いかに安定した動作を実現するかが課題でした。大会結果としては、A・Bチームともに全国大会出場は叶いませんでしたが、Bチームは奇抜なアイデアを認めていただき、田中貴金属様より特別賞をいただくことができました。今大会で苦杯を喫し、我々はアイデアの実現力不足とチームワークの大切さを強く感じました。この心の底から沸き上がる悔しさや不甲斐なさ、敗因を我々にしか得られなかった経験と捉え、それを糧に来年進化した姿で全国大会へ再び咲けるよう活動体制の見直しや技術開発に奮励していきます。



第34回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト(自由部門)

プロコン全国大会

4C 菊池 静琉



私たちは10月14・15日に開かれた第34回全国高等専門学校プログラミングコンテスト自由部門に出場しました。自由部門では予選を通過した20組がプレゼンテーション、デモンストレーション、マニュアル審査を行い競います。私たちのチームは全員C科なのもあり水害避難シュミレーターゲームを作成しました。このゲームでは最初に避難に必要な持ち物を選択してから避難を開始し、避難完了すると選択した持ち物の重要度・重さと通過した避難経路によって100点満点でスコアを算出する仕組みです。初めてのプロコンで1日目の朝は不安で顔が引きつりすぎて先村先生に心配されるほどでしたが、2日目には会場の雰囲気にも慣れブースに来てくれる方に楽しみながら説明をすることができました。目標である企業賞を取ることができなかったので来年のプロコンに向けてまた頑張りたいです!

Honda エコマイレッジチャレンジ 2023 本田総一郎杯 第42回全国大会

途上

エコノパワー愛好会 2J 大嶋 韻玄

9月10日、モビリティリゾートもてぎにてHonda エコマイレッジチャレンジ(ガソリンを用いたマシンの燃費の値を競う大会)の決勝走行が行われた。二輪の部では、走行中に突然エンジンが停止し再始動できなくなる、というトラブルに見舞われリタイヤ。マシンの部ではチェーンが外れるなどの事態に幾度も遭遇するが、こちらは辛くも完走を果たした。しかし、走行に時間が掛かりすぎてしまったため記録はタイムオーバー、順位争いに加わることはできずに終わった。大会中様々な困難に直面し、会としては満足のいかない結果となってしまった。この結果を通して、事前準備の不足やいつもと違う環境への適応力の低さをひしひしと感じさせられた。しかしながらこのことが、会全体として足りない部分を見つめ直し、改善する好機になったことは確かだ。



今年は群馬で
開催されました!!

令和5年度 関東信越地区文化発表会



文化発表会!



文発実行委員長 2年3組 (J) 原野 恋羽

まず初めに今回の文化発表会へ参加していただいた文化部のみなさんお疲れ様でした。そして何より、とても素晴らしい文化発表会を作り上げてくださった先輩方、サポートしてくださった学生課の方々や先生方、ありがとうございました。今回の文化発表会で、私自身信じられないくらい成長することが出来たと思います。裏方で行事を1から作りたという理由で学生会へ入ったにも関わらず、まだ低学年で会議の招集張り紙しかすることがなかった私にとって、先輩からの「実行委員長をやってみないか」という提案をいただいた時は本当に嬉しかったです。先輩方と同じように重要な仕事を任せただけのようにもなり、特に開催前1ヶ月は毎日のように共用室へ通いました。開催当日私は高専大会だった為不参加になってしまったのですが、みんなから「楽しかった」「文発最高だった」と聞こえてきたとはとても嬉しく、当日に運営をしていただいた先輩方や文化部の方々には本当に頭が上がりません!文化発表会に運営チームとして少しでも関わったことをとても光栄に思います。また、運営に必要な知識もたくさん吸収させていただいたので、これからはこの知識を惜しみなく使っていきたくです。貴重な経験を、そしてサポートしていただいた方々、本当にありがとうございました。

吹奏楽部

他高専との合同演奏を終えて

3J 渡邊 祥

吹奏楽部では、7高専合同で演奏をしました。その都合上、文化発表会の前日になるまで本番同様の合奏ができず、当日どうなるか不安でした。しかし、いざ合奏してみると、普段演奏している人数では出せないような迫力のあるメロディーが私の不安を吹き飛ばしてくれました。周りのサポートもあり、無事に成功することができました。



文芸部

文(章)発(表会)

3E 飯島 慶士

OnePiecePuzzleという部誌を数年ぶりに復活させたのですが、その甲斐あって、なんと130人の方に持ち帰っていただけました。部誌を交換したり、作品の感想を言い合ったり、他校の文芸部との交流も充実した文発になりました。この部誌に載せた作品は文芸部のサイトにも掲載しています。是非訪れてみてください。



写真部

邂逅と感興を得た文化発表会

3K 泉田 光範

実地開催は実に5年ぶりとなる文化発表会が夏休みに開催された。本校写真部は、小山、品川、木更津、長岡高専の各写真部とともに活動し、多くのインスピレーションを得る機会となった。また個人的には他校学生が持参したnikon 28Tiとの出会いも感慨深い。車で例えるならば初代フェアレディZといったところだろうか。今回参加を逃した諸君も次回はぜひ参加するといだろう。



美術部

初の実地開催文発

3M 岡田 志織

パンフレットの表紙イラストを担当させていただけたことも含め、記憶によく残る文化発表会だった。入学以降初めての実地開催、他高専生との対面での交流は新鮮で、純粋に楽しかった。また、楽しむ一方で、部長・系統代表者としての仕事も全うできたと思う。慣れない仕事もたくさんして、そのような面でも非常に貴重な経験を得られた。



理科部

文化部の集大成

3C 志村 真輝

理科部は、8月19、20日の地区文化発表会で生物班の西湖の生物展示及び電子工作班の部員による作品展示を行いました。見学に来られた方々にミニゲームの体験や展示品の説明をしました。楽しそうに体験や説明を聞いていただけたのでとても嬉しく、今後の活動の良い刺激になりました。この刺激を元にこれからも活動を頑張りたくです。



茶道部

未経験の文発

3K 笹澤 芯之介

8月に行われた文化発表会は、コロナの影響により4年生以下は未経験で自校開催ということもあって、不明な点が多く先行き不安であった。それでも、部員達や他校の高専生と協力し練習した成果を発揮することができた。特に、同じ茶道部でも他高専では流派だけでなく茶道具までも大きく異なることに茶道の奥深さを実感した。来年は今回参加しなかった高専とも交流を深めていきたい。



SF研究部

4年ぶりの現地開催

3J 藤田 恭輔

4年ぶりの文化発表会であり、SF研究部の伝統的な出し物である「ライブRPG」を行うのも4年ぶりであった。夏休みに先輩方を呼び5年生やOBに教えを戴きながら練習を進めていき、文化発表会で「ライブRPG」を発表することができた。至らない点も多々あったが伝統を無事に復活させることが出来たことは嬉しく思う。



電算部

関東地区文化発表会を終えて

3J 黛 琵琶

我々電算部は部誌の頒布・ゲームプログラムの展示・パケット改ざん体験の3つの企画を行った。当日は多くの方々にご覧いただき、非常に嬉しいことであった。また、近隣の高専との交流で、普段見ることのない技術を体験することができ、新たなインスピレーションに繋がる良い刺激が得られた。来年の文発では、他高専との交流をより深めたいと感じている。



演劇部

ファースト・コンタクト

3E 堤 勇飛

今回の文化発表会は、コロナ禍の影響もあり、部員全員が初めての経験となりました。他校の学生が校内を歩く姿に、緊張と高揚感を抱えながら迎えた我々の公演は、大成を取めました。参加校の発表を見ると学ぶ点が多く、これを機にさらに成長していきたいと思えます。来年度は今年の文発を大きく超えた劇を皆さんに届けられるよう、努力していきます!



ダンス愛好会

~文発何それ?~

4C 小手川 温陽

気が付いたら四年生になったこの頃、つい最近文発の存在を知りました。文発が開催されると、同じ趣味の他高専の人と出会うことができ自然と話を花を咲かせていました。この日のために練習してきたダンスも互いに見せ合いとても有意義な時間を過ごすことができました。こんなに楽しかった文発の思い出を高専の友達に話したとき、真っ先に返ってくる返答は…





1 日 研 修 旅 行



いざ研修旅行へ!

1年1組 渡辺 瑛大



私たち1年1組は研修旅行で東京スカイツリー、浅草寺を観光しました。当日は人生初の研修旅行に心弾ませ登校しました。東京スカイツリーでは展望台に登り東京都の景色を一望しました。浅草寺では参拝後に歴史ある仲見世通りを歩き人形焼や最中などを楽しみました。クラス全体が楽しくて良い経験になりました。

陸空海、宇宙の新技术

2M 苅谷 航汰



私たち、2年機械工学科は横浜にある三菱みなとみらい技術館を訪れました。館内のしんかい6500や航空機の実物模型がとても壮大でした。また、ロケットのエンジンについて詳細に学習する機会があり、未来の科学技術の発展に貢献する価値ある体験ができました。その後、自由行動で中華街へ行き、食べ歩きを楽しみました。

身近にある宇宙

3M 中村 健太



私たち3年機械工学科は、茨城県つくば市の筑波宇宙センター (JAXA) へ行きました。国際宇宙ステーションにある実験棟「きぼう」の運用管制室を見ることができました。展示館には、これまでに運用された人工衛星やロケットが展示されており、とてもワクワクしながら見学していました。今宇宙で行われている研究などを知れた貴重な体験でした。

そこで見えたのは世界の軌跡

1年2組 宮島 智宏



先日行われた研修旅行で我々1年2組は、国立科学博物館を訪れました。地球館に入ったその瞬間、まさに「小さな地球に入り込んだ」感覚でした。その小さな地球を、巨人として、時間旅行者として、国を、時間を股にかけ歩き回ること、私は夢中になっていました。あの中にいた約3時間は自分にとっては10分に満たぬほどで、価値のある研修旅行となりました。

東京空木

2E 松井 俊



2年生の研修旅行では東京スカイツリー周辺を巡りました。初めは千葉工業大学さんの講演会があり、とても興味深いお話を聞かせていただきました。そして東京スカイツリーに行きました。景観のためだけではなく、避雷針や電波塔などの役割もありました。勉強したことが実際に社会に使われていると知り、学びに対してのモチベーションにもなりました。

国立科学博物館での学習

3E 高橋 怜央



私たち3Eは研修旅行で、東京にある国立科学博物館へ行きました。展示は興味深いものが多く、高専で学んだ内容を思い出しながら見学できました。特に印象に残っているのはコイルに磁石とスピーカーを近づけて音楽を聴くことが出来る装置です。3Eではラジオの受信機を作成する実験を行いますが、9割が受信に失敗しています。それほど繊細なものということをもっと体験した直後だったのでその装置には感動しました。今後の学習にも役立つ、とても有意義な旅行でした。

多くの学びと楽しさがあった研修旅行

1年3組 松澤 諒



僕たちは研修旅行で東京にある科学技術館に行きました。どの学科の人でも興味を持てるような様々な展示品や、テーマに沿ったクイズなどがありました。展示品はこれまでに学んだ、知識だけだったことを実際に体験できるようになっていて理解を深めることができました。全ての展示を見学することはできなかったのが機会があればまた訪れたいです。

電車は自分より早起きでした

2J 関 浩輝



私たち2年電子情報工学科は、埼玉県さいたま市にある鉄道博物館に行きました。行く前は興味がなかったものの、行ってみたら今まで知らなかった電車、新幹線の歴史や、電車の日などについて知れて面白かったです。また、目を輝かせながら博物館を見て回っている子ども達を見て、自分も興味があることを探してみようと思いました。

研修旅行を終えて

3J 田村 伊織



僕たちは研修旅行で東京証券取引所へ行きました。そこで、株式に関する見学や株取引のシミュレーションゲームを行いました。株式の説明では、普段ニュース番組で見えるような施設の見学や資産運用についてのアニメを見て、シミュレーションでは政策などによる株価の変動を体験しました。それらを通じて、株取引の必要性を実感しました。

上野でシーラカンスの剥製を見た!

1年4組 南雲 翔太



横山先生とK科の工藤まゆみ先生が担任の1年4組は、上野の国立科学博物館に行ってきました。7班に分かれ、14時20分まで見学しました。私たち4班は特別展「海」で、めったに見られないシーラカンスの剥製や、縄文時代に食べられていた貝の展示を楽しみました。特に、海洋プラスチックの問題を学べたのが良い経験になりました。

広すぎる!!

2K 田中 はんな



2Kは国立科学博物館に行きました。正直な所、館内のあまりの広さと僅かな滞在時間との戦いで、全体の3分の1も回れませんでした。

唯一、足早に回る私たちを引き止めてまでカニについて熱く解説してくれた学芸員の方が印象に残っています。高専の先生方と似た雰囲気を感じました。次機会があれば、またあの学芸員さんに会いたいです。

提案する化学

3K 上野 陽平



私たちは9月20日に日本触媒に伺った。私は行く前は化学についてあまり興味がなかった。しかし日本触媒ではさまざまな製品を作っていた。例えばオムツなどに使われている吸水ポリマーを作っており、私たちの生活になくてはならない企業であると思った。化学が世の中に役に立つということを知り、私は社会貢献のために化学の勉強を頑張りたいと思った。

鉄道博物館

1年5組 大塚 徠希



私たち5組は埼玉県の鉄道博物館に行きました。実際に使用されていた車両の見学や、リアルなジオラマを用いた鉄道運行の仕組みの説明を受け、有意義な時間を過ごせました。博物館では蒸気機関車の断面図模型の展示やパンタグラフの操作体験があり、機関車の仕組みや電力供給の仕組みを間近で見ることができました。クラス全体で受けたジオラマを用いた説明では、鉄道の1日の様子や車両が衝突しないための仕組みを学ぶことができ、たくさんの技術が私たちの生活を支えているのだと実感しました。

迫力満点の防災施設

2C 杉原 菜々



2Cの研修旅行では、茨城県にある防災科学技術研究所に行きました。防災科学技術研究所では、防災科研紹介DVD鑑賞、大型降雨実験施設見学、地震ザブトン体験をしました。このような施設で研究が進められているため、安全な生活が送れているのだと分かりました。今後の学習で災害対策に対する理解をより深めていきたいです。

貴重な現場見学

3C 上村 正史



今回の研修旅行で3Cは、栃木県にある南摩ダム建設現場、黒川取水放流工を訪れました。現地では建設途中であるダムの堤体や取水設備、放流設備などを間近から見学し、そのスケールの大きさに驚かされました。また、水資源機構の方々によるご案内で、ダムの製造工程や建設方法、目的や特徴なども学びました。普段の生活では味わうことのできない、リアルな現場を実際に目にする事ができた非常に貴重な経験となりました。



4年

社

会

見

学

旅

行



技術の拓く道

4M 佐々木 智也

夏季休業中の9月19日から22日にかけて、社会見学旅行が実施された。

機械工学科4年生は九州北部を回った。この旅行の中で1日目に見学した日本製鉄の高炉はとても印象に残った。私達は高炉が実際に稼働している様子を見学したのだが、そのスケールの大きさに圧倒された。高炉だけでも高さ41mという巨大なもので、建屋はその倍以上の高さを持つ。高炉は建設当時から改良が続けられ、現在では20年単位で稼働できるらしい。

また、2日目の班別自由行動で、私の班はBOSS E・ZO FUKUOKAの見学をした。VRをはじめとした仮想を現実、現実を仮想に反映させる技術を用いたゲームがあり、近未来の技術を体感できた。

3日目には長崎の原爆資料館も見学した。

今回の社会見学旅行を通して、私達は工業の町として発展してきた九州の歴史とともに、新たな技術を知ることができた。技術が自然に与える影響と人々にもたらした被害、そしてそれらを踏まえて新たな未来を創る技術。この二つを間近に感じられたことは、将来技術者になるだろう私達にとって、良い体験であったと感じた。



ぶらり、大阪の旅

4E 久保 瑞香

私たち4Eは大阪へ修学旅行に行ってきました。

初日は新幹線乗り継ぎ、新大阪駅に到着後、大阪大学豊中キャンパス、万博記念公園、民俗学博物館の見学をしました。大阪大学では、キャンパス内の見学や、大学についての貴重なお話を聞くことができました。また、万博記念公園では、テレビの中で見ただけのなかった太陽の塔を初めて見ることができ、とても感動しました。民俗学博物館では、世界各国の人々の生活と文化を展示を通して学ぶことができました。2日目は班別行動で、大阪観光をしました。大阪の雰囲気や群馬のそれとはまったく異なることに圧倒されたのを覚えています。また友達と食べ比べたたこ焼きの味は今でも忘

れられません。3日目はUSJ、最終日は大阪城を見学しました。

今回の修学旅行では、たくさんの歴史や文化にふれ、多くのことを楽しく学ぶことができました。3泊4日という長いようで短い旅行でしたが、とても充実した旅行になりました。



社会見学旅行を終えて

4J 山口 剛史

私たちは、社会見学旅行で京都大学と伏見稲荷神社を訪れました。

まず私たちは、京都大学に行きました。そこでは、他では滅多に見ることができないスーパーコンピュータを見学することができました。地下に進み防火扉のような大きな扉を開くと、「ゴオオオ」という鈍い音と共に巨大なスパコンが現れました。スパコンは区画分けされ、区画ごとに機能が異なっていました。また何十個と置いてあるコンピュータの一つ当たりの値段は2億円で、一番大きな区画では20ペタバイトという、私たちには考えられないほどの金額と容量であることにとっても驚きました。どの要素をとっても規格外なスパコンはとても興味深く、良い経験になったと思います。

京都大学を後にしたのち、伏見稲荷神社に行きました。まず始めに、本殿でお参りを行ったあと、伏見稲荷で有名な千本鳥居に向かいました。そこではまるでファンタジーの世界に入ったかのような鳥居の風景を見ることができました。千本鳥居をぬけると、奥社があり、その横には有名な重軽石があ

りました。石を持ってみたところ重かったので、願いを叶えるために頑張ろうと思います。その後、神社と近くにいたネコの写真を撮ったり(載せた写真にもネコいます)、露店を楽しむことで伏見稲荷、また京都を楽しむことができました。

今回の社会見学旅行は、学びと楽しむことを両立できた最高の旅行だったと思います。



でっかいどう

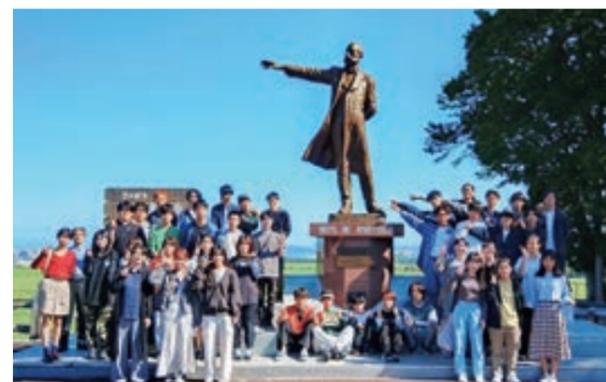
4K 怜満 勇

僕たち4Kは北海道で3泊4日、研修旅行に行ってきました。

研修先では北海道大学工学部、サッポロビール園、白い恋人パークなどの場所を訪れました。北海道大学では、工学部の教授による応用化学部門の紹介をして頂きました。クロスカップリング反応でノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生の記念講堂や展示も見学しました。大学というものの雰囲気、様々な実験設備を紹介して頂き、大学生活を具体的に想像できる貴重な体験をさせて頂きました。そして待望の自由行動は、北海道の美瑛、室蘭、小樽などの周辺地域を存分に巡りました。各々が事前に行く場所を計画立て、僕たちの班は魚市場、小樽運河でのクルーザー体験、商店街などを中心に巡りました。

北海道では、北海道ならではの美味しい食材がたくさんありました。1日目はS先生におすすめされたお寿司屋さんへ

行き、2日目はサッポロビール園でジンギスカンを食べ、北海道ならではの食材を堪能しました。中でもウニ丼は別格で美味しかったです。



弾丸研修旅行

4C 乾 祥太郎

9月19日から22日まで、私たち4Cは福岡と大阪へ研修旅行に行きました。福岡ではバスガイドの方のご案内のもと、クラス全員で、太宰府天満宮、PayPayドーム、マリンド海の中道、門司港に行きました。初日の夕食では、福岡の郷土料理である水炊きを食べることができました。本場の水炊きはとてもおいしかったです。

2日目の夜はフェリーに乗って新門司港から大阪南港へ移動しました。フェリーでの寝泊まりは初めてでしたが、船内の設備が充実していて快適に過ごすことができ、夜中にフェリーから見える夜景もとてもきれいでした。

大阪で海遊館に行った後の班別行動では、コリアンタウンや心齋橋に行っているいろいろなご当地グルメを食べ歩きました。

3日目と4日目の午後は雨に降られてしまい少し残念でしたが、4日間を通して様々な体験をすることができました。今回はスケジュールがかなり過密だったので、また機会があれば行けなかったところにも行ってみたいと思います。





インターンシップ支援室から

情報収集、申込、書類の提出すべてがインターンシップです!

室員: 出口 米和(室長)、矢口 久雄、
渡邊 俊哉、松本 智美(学生課教務係)

今年度のインターンシップ実施に際しまして、インターンシップ研修生を受け入れ、ご指導していただきました研修先の皆様に深くお礼申し上げます。大変ありがとうございました。来年度もよろしくお願ひ申し上げます。

また、本科4年生、専攻科1年生のインターンシップ先を決定するにあたり、ご指導、調整等をしていただきましたインターンシップ担当教員の先生方には多大なるご支援をいただきました。ここに感謝申し上げます。

今年度は本科4年生だけではなく専攻科1年生も対面参加型のインターンシップとして実施いたしました。インターンシップに参加するにあたり「自由応募」や「公募」で参加した学生が多く、インターンシップ先の情報収集、選択、申込などで苦労したようでした。参加にあたっての手続き、提出する書類など初めてのことも多かったと思います。すべてが終わってみればではありませんが、今回のインターンシップに関する全ての経験が社会経験だけではなく、今後にわたっての勉学意欲の向上と将来を考えることにつながることを、インターンシップ支援室スタッフ一同心から願っております。

そうだ、インターンシップ行こう

4M 澤口 昌広



インターンシップに行って来て良かったことは、企業の雰囲気を知ることができたことです。インターンシップの期間中は、その企業の社員の一人となるため、企業理念などを自然に理解することができました。また、実際に働いている人達から多くの話を聞くことができ、進路選択の良い参考となりました。中学校の職場体験とは違い、インターンシップは企業の看板を背負って仕事をやるイメージです。自分が社会人になったときに、インターンシップに参加した経験はきっと役立つと思います。皆さんもインターンシップに参加してみたいかでしょうか?

学校生活と現場を繋げる体験

4K 守谷 ころこ



私は夏季休業中の8月28日から9月1日までの5日間、協和キリン株式会社高崎工場のインターンシップに参加しました。この5日間では、座学による企業の説明や工場の見学だけでなく簡易的な業務の体験もさせていただきました。様々な部署での見学や体験を通して、全ての部署で共通してみられた点がありました。それは、患者さんの命や健康に直接関与する医薬品を製造・開発しているということで菌に細心の注意を払って作業しているという点でした。実際の現場を自分の目で見て感じることで得られたものが多くあり、大変貴重な経験になりました。

インターンシップは絶対行くべき!

4J 小鮒 侑真



私は、夏休みの時間を使って奥地産建株式会社のインターンシップに参加してきました。住宅用鋼材部品や太陽光発電用架台の製造がメインの企業だったので、情報系の仕事はないと思っていましたが、実際には、AIを使った技術が現場では使われており、IT技術者の重要性について気付かされました。この5日間で、工場で働いている人たちと同じ仕事をしたり、他高専の人たちと協力して課題をこなしたりと、多くの貴重な経験を積むことができました。どれも普段の学校生活では体験できないものばかりなので、3年生の皆さんには、ぜひ来年のインターンシップに参加してほしいです。



国際交流室から

一度の経験が人生を変える

国際交流室長 熊谷 健

3月に引き続き、9月上旬、ロサンゼルス語学研修が実施された。国際交流室長として、そして、引率者として、この研修が無事に終わり、充実したものであったことは感無量であった。新型コロナ以前に計画された研修が実現し、急速に海外研修の需要も高まっている。物価の高騰や円安という逆境の中、機構本部からの支援が始まった。本校、そして後援会からの補助を考慮しても、決して安いとは言えないが、将来の自分に対する投資という意味でもこの経験は極めて重要である。海外を経験した人なら実感するのだが、人から聞く話と自分自らが体験することにはかなりの乖離がある。しかも、「初めての」というのはたった一度しか経験できない。この一度の経験が人生を変えると言っても過言ではない。今回研修に参加した30名全員、この経験を通し、今後、さらなる“Next Level”に突入することは間違いないのである。



参加報告

海外経験0の俺がアメリカで一週間過ごした話

2年1組(E) 山縣 蒼人

ロサンゼルス語学研修が9月3日から10日の間行われた。私は友達が行くと聞き、説明会について行った。同じく海外経験0の先輩が前回の研修について話されていたので、意外に行けると思い切って友達と参加申し込みを決意。その友達は抽選に敗れ、私だけが行けることになった。とはいえ、ここまで来て行かないわけにはいかない。英語には自信がないし、アレルギーは持っているし、飛行機も乗ったことないし、心配だらけの語学研修はいつの間にか幕を開けていた。飛行機って余裕やな、と思った矢先、ホストファミリーが暖かく迎えてくれた。英語だらけの日常、結構美味しい家庭料理、待ち受ける数々のトラブル。一週を終えた私には、できないことなどないと思われられた。ここでしかできない経験を通して、これからのキャリアに活かせる心が備わったと思う。ぜひ、海外での経験をしてほしい。



球技大会報告

令和5年度球技大会が無事終了!

一般教科(人文科学)教授 櫻岡 広

6月27日(火)に今年度の球技大会が開催されました。当日の早朝は雨模様で開催が危ぶまれましたが、天候は回復傾向にあることから開催を決定しました。

各種目の第1試合が始まるころには雨の心配もなくなり、野球場・サッカー場・テニスコート・第1体育館・第2体育館の各会場で熱戦が繰り広げられました。学生諸君の協力により閉会式もほぼ時間通りに終了できました。感謝します。

最後に毎年のごとながら、審判してくれた各運動部の学生諸君、本当にありがとうございました。

各種目の優勝チームは右記の通りです。

球技大会優勝チーム一覧

ソフトボール	専攻科
テニス	5年環境都市工学科
フットサル	3年電子メディア工学科
バレーボール	専攻科
バスケットボール	4年機械工学科
卓球	1年2組



アントレプレナーシップ教育について

群馬高専型産学連携アントレプレナーシップ教育について

アントレプレナーシップ教育推進委員会 委員長 木村 清和

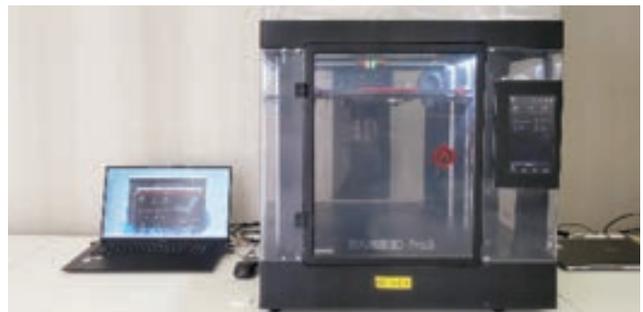
本校は文部科学省から高等専門学校スタートアップ環境整備事業の予算を獲得し、4月よりアントレプレナーシップ教育に取り組んでいます。一般的には「起業家精神」と言われるアントレプレナーシップを、本校では起業家に求められるスキルとしてリーダーシップ、発想力・想像力、マネージメント力、チャレンジ精神、コミュニケーション力に着目し、より広義にとらえ「人生を主体的に切り開く力」と定義しました。そのために、「社会課題を発想力・想像力を基にチャレンジして主体的に解決する力」と「人と協力し、新しい事業やプロジェクトを実現する力」を高専生に求められる「アントレプレナーシップ」と決めました。教育プランとしては働くことから見たアントレプレナーシップの必要性と重要性に関する授業を低学年で行い、高学年ではプロジェクト型のPBL授業を導入し実践に導く教育を行うため現在カリキュラムを検討しています。

また、社会課題の解決に取り組むため、学生の自由な発想を具現化する「アントレプレナーシップ教育工房」を開設します。情報・デジタル分野の発案を熟成させ具現化する場として「リアライズスタジオ」を群嶺会館2階に開設し9月より仮運用を開始しました。現在は写真に示す全身3Dスキャナ、3Dプリンタ、その他にMR(複合実現)システム、映像加工配信システムが使用可能となっています。早速私も全身3Dスキャナでリアルアバターを作成し、メタバース上で動作することにチャレンジしてみました。そのほかに、ものづくりによってアイデアを具現化するための「トリアルファクトリ」を情報基盤センター内に12月に開設します。これらの工房の機器は、オンラインの予約申請システムにより学生が自由に使用できます。詳しくは以下のQRコードよりアントレプレナーシップ教育工房のHPをご確認ください。すでに、この工房を活用し2チームが高専機構主催のディープラーニングコンテスト(AIを活用した起業コンテスト)に出場し、2次審査に向けた活動を開始しています。今はAIによる第4次産業革命(情報革命)で社会が大きく変わろうとする中で、高専生の知識と行動力が求められ、高く評価されています。さあ、独自の発想と想像力そして高専生の機動

力を生かして、皆さんの周りにある社会課題やニーズを見つけ、その解決にチャレンジしてみましょう。



全身3Dスキャナ



3Dプリンタ



リアルアバター



<https://www.tech.gunma-ct.ac.jp/kobo/>

編集後記

前回(2021年)の工華祭はコロナの影響も残っており入場制限しながらの開催でしたが、今回は制約無しでの開催となりました。苦労して計画・準備して、工華祭を楽しんでいる皆さんの姿を見てると自分が高校生の時の文化祭を今でもはっきり思い出します。

これからも皆さんの元気あふれる姿を広報していき、学校の魅力を伝えていきたいと思っています。今年度も残り半分弱となりましたが、引き続き充実した日々を送ってください。

(広報委員長 高橋 徹)